

組織目標評価報告書（平成26年度）

部局名： **若手研究者キャリア支援センター**

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域	自己評価
①-1 目標 講義・セミナー、講演会・企業との交流会、個別面談・ドクター・キャリア相談及びインターンシップで構成されたキャリア支援プログラムの実施により、ポストドクター及び博士後期課程等学生へのキャリア支援の充実を図ると共に、プログラム登録者(養成開始者)を増やす。	講義・セミナー、講演会・企業との交流会、個別面談・ドクター・キャリア相談及びインターンシップで構成されたキャリア支援プログラム「ドクター・キャリアサポート・プログラム」により、ポストドクター及び博士後期課程等学生へのキャリア支援の充実を図った。講義については、「実践的博士人材特論Ⅰ(前期)・Ⅱ(後期)」及び「ビジネス英語Ⅰ(前期)・Ⅱ(後期)」の計4科目を開講し、博士後期課程等学生への単位認定も行った。セミナーについては、就職支援・業界研究などの各種セミナーを通年で20回(延べ100時間)開講した。その中では、人間力養成のための特別セミナーを計6回開講した他、アカデミックキャリアをテーマにしたセミナーを男女共同参画室と共催で1回開講した。講演会については、学内で前期1回、後期1回開催し、ポストドク問題に精通した著名人や他大学教員、企業担当者を講師に招聘した。前期の開催では、「長期インターンシップとキャリアパスの多様化」をテーマに、インターンシップ参加者、受入企業、学内教員によるパネルディスカッションを行った。また、会の冒頭では、学長が教員の意識変革の重要性を強調するスピーチを行った。学外では、他大学と共催の上、学会でのキャリア支援セミナーを後期に1回開催した。企業との交流会については、学内で前期1回、後期1回開催した。合同会社説明会の企業は、前期9社、後期11社を招聘した。また、前期の開催では、ポストドクター5名、博士課程学生5名によるプレゼンテーション及びポスターセッションを行い、自身の研究内容をアピールした。その他、新規イベントとして、企業研究バスツアーを後期1回、企業人との交流の場「D-café」を後期2回開催した。面談・相談業務については、センターの他、理・環境理工・農学部・資源植物科学研究所の4部局にキャリア相談拠点を設置し、定期的に対応した。その他、センターの活動状況や支援内容、博士人材の活躍状況などをより詳細に掲載した情報誌「Bridge D. Future」を新たに発行し、ポストドクター・学生・教員に幅広く配付、周知することで、プログラム登録者増や教員への意識啓発を図ることができた。インターンシップについては、これまでで最多のポストドクター11名を企業等に派遣し、うち6名がインターンシップ先企業に就職した。また、プログラム登録者(養成開始者)については、3月上旬時点で、単年度55名(PD32名、DC23名)の登録があり、うち23名(PD8名、DC15名)の養成を開始した。以上により、キャリア支援の充実を図ると共に、プログラム登録者(養成開始者)を着実に増やすことができた。
①-2 目標とする(重要視する)客観的指標 講義・セミナー、講演会・企業との交流会等の実施状況、プログラム登録者(養成開始者)数の推移	
②研究領域	自己評価
②-1 目標 ②-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
③社会貢献(診療を含む)領域	自己評価
③-1 目標 ③-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
④センター業務	自己評価
④-1 目標 1)各研究科等と連携して、文部科学省補助事業である「ポストドクター・キャリア開発事業」を着実に実施する。 2)平成28年度のキャリア開発センターとの統合に向けて、検討を開始すると共に、連携の強化を図る。	1)「ポストドクター・キャリア開発事業」については、各研究科等との連携して、講義・セミナー、講演会・企業との交流会、個別面談・ドクター・キャリア相談及びインターンシップで構成されたキャリア支援プログラムを実施した。その他に、センター機能の構築、学内教員への意識啓発活動、学内各関係組織や学会との連携、企業への啓発活動など行い、事業計画書に記載の項目及び内容を着実に実施した。特に、インターンシップ派遣者数11名(目標値10名)及び企業等への就職者数6名(目標値5名)については、それぞれ目標値を超過達成することができた。 2)キャリア開発センター・学生支援センターとの合同教員会議を5回開催し、共通業務の洗い出しや協働体制の構築など検討を行った。また、講演会や企業との交流会等のイベントを共催で開催し、連携の強化を図った。
④-2 目標とする(重要視する)客観的指標 「ポストドクター・キャリア開発事業」実施状況	
【総括記述欄】	
ポストドクター・キャリア開発事業については、長期インターンシップ派遣及び企業等への就職者数について、単年度で目標値を超過達成したこともあり、最終年度も超過達成できる見込みである。その他のプログラムや学内の意識改革を一層促進し、本事業計画を着実に推進すると共に、関係部署と連携の上、本事業終了後もポストドクターや博士後期課程等学生へのキャリア支援を継続実施するための基盤を構築するため、検討を重ねていく予定である。	